

そのもの忘れ、大丈夫？

-PETで見た！認知症の原因と近未来治療-

10月7日(土) 13:30~15:00

会場 きぼーる11階
千葉市中央保健福祉センター 大会議室

定員 70名

申込 9月1日(金)より電話で受付開始。※先着順で定員になり次第終了
電話 043-308-0519 (9:00~19:00)
※休館日9月4日(月)~7日(木)、25日(月)を除く

参加費 無料

講師

樋口真人

量子科学技術研究開発機構
放射線医学総合研究所 チームリーダー

もの忘れは年齢とともに増していきますが、この主な原因として、脳の中にタンパク質のゴミがたまるのが挙げられます。ゴミの蓄積がある程度以上になると、アルツハイマー病などの認知症を発症すると考えられています。最近になり、陽電子断層撮影(PET)という検査技術によって、生きている人の脳内に蓄積するタンパク質のゴミを画像化できるようになりました。PETによるタンパク質のゴミの画像化は、ゴミの蓄積を抑える次世代の認知症治療薬・予防薬開発とともに、認知症制圧の切り札として注目されています。



略歴

1993年 東北大学 医学部卒業
1997年 東北大学大学院 医学研究科修了(医学博士)
1999年 東北大学 医学部附属病院 助手
米国ペンシルバニア大学 研究員
2003年 独立行政法人 理化学研究所 研究員
2005年 独立行政法人 放射線医学総合研究所 研究員
2016年 同上 チームリーダー 現在に至る



Chiba City Museum of
science
千葉市科学館

千葉市中央区中央4丁目5番1号Qiball内(7-10階)
TEL:043-308-0511(代表) FAX:043-308-0520